

目次

ew 100 G4 製品セット一覧	5
プリセットバンク周波数一覧	8
EM 100 G4 のセットアップ	9
デバイスの背面のコネクター	9
EM 100 G4 を電源システムと接続する / 接続を切る	10
データネットワーク作成	11
オーディオ信号の出力	12
アンテナの接続	13
EM 100 G4 のラック設置	14
SKM 100 G4 のセットアップ	17
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し	17
バッテリー残量	18
マイクモジュールの交換	19
SK 100 G4 のセットアップ	20
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し	20
バッテリー残量	21
マイクを SK 100 G4 に接続する	22
楽器やラインソースを SK 100 G4 に接続する	23
ボディパック型送信機を衣服に装着する	24
EM 100 G4 の使用	25
EM 100 G4 製品各部の名称	25
EM 100 G4 電源のオン / オフ	26
オーディオ出力のミュート	27
EM 100 G4 操作方法	28
ディスプレイ概要	29
標準画面 ①	29
標準画面 ② Soundcheck	30
標準画面 ③ Guitar Tuner	31
メニューの概要	32
Squelch メニュー	33
Easy Setup メニュー	35
Frequency Preset メニュー	38
Name メニュー	39
AF Out メニュー	40
Equalizer メニュー	41
Auto Lock メニュー	42
Advanced -> Tune メニュー	44
Advanced -> Guitar Tuner メニュー	45
Advanced -> Pilot Tone メニュー	45
Advanced -> LCD Contrast メニュー	46
Advanced -> Reset メニュー	46
Advanced -> Software Revision メニュー	46

SKM 100 G4 の使用	47
SKM 100 G4 各部の名称.....	47
SKM 100 G4 電源のオン/オフ.....	48
ハンドヘルド送信機の RF ミュート.....	49
ディスプレイ概要	50
SKM 100 G4 操作方法	52
メニュー概要	53
Sensitivity メニュー.....	53
Frequency Preset メニュー.....	53
Name メニュー.....	54
Auto Lock メニュー.....	54
Advanced -> Tune メニュー.....	56
Advanced > Mute Mode メニュー (SKM 100 G4-S のみ).....	57
Advanced -> Pilot Tone メニュー.....	58
Advanced -> LCD Contrast メニュー.....	58
Advanced -> Reset メニュー.....	58
Advanced -> Software Revision メニュー.....	58
SK 100 G4 の使用	59
SK 100 G4 各部の名称.....	59
SK 100 G4 電源のオン/オフ.....	60
ボディアック送信機の RF 信号ミュート.....	61
ディスプレイ概要	62
SK 100 G4 操作方法	64
メニュー概要	65
Sensitivity メニュー.....	65
Frequency Preset メニュー.....	65
Name メニュー.....	66
Auto Lock メニュー.....	67
Advanced -> Tune メニュー.....	68
Advanced -> Mute Mode メニュー.....	69
Advanced -> Cable Emulation メニュー.....	71
Advanced -> Pilot Tone メニュー.....	71
Advanced -> LCD Contrast メニュー.....	71
Advanced -> Reset メニュー.....	71
Advanced -> Software Revision メニュー.....	71
デバイスの同期	72
プリセットバンク周波数一覧	74
evolution wireless G4 プリセット周波数テーブル.....	75
仕様	76
EM 100 G4.....	76
SKM 100 G4.....	78
SK 100 G4.....	80
ピン割り当て	82
クリーニングとメンテナンス	84

ew 100 G4 製品セット一覧

EM 100 G4 ダイバーシティ受信機



EM 100 G4 に関する詳細は以下のセクションからご覧になれます。

- セットアップ: 「EM 100 G4 のセットアップ」
- 操作方法: 「EM 100 G4 の使用」
- 仕様: 「EM 100 G4」

SK 100 G4 ボディパック送信機

SK 100 G4 に関する詳細は以下のセクションからご覧になれます。

- セットアップ: 「SK 100 G4 のセットアップ」
- 操作方法: 「SK 100 G4 の使用」
- 仕様: 「SK 100 G4」



SKM 100 G4 ハンドヘルド送信機



SKM100 G4 に関する詳細は以下のセクションからご覧になれます。

- セットアップ: 「SKM 100 G4 のセットアップ」
- 操作方法: 「SKM 100 G4 の使用」
- 仕様: 「SKM 100 G4」

接続ケーブル、楽器用ケーブル

楽器とラインソースを SK 100 G4 ボディパック送信機に接続する際は以下のケーブルが利用可能です。

- **Sennheiser CL 2**
(スクリューロック付き 3.5mm ジャック -XLR) 製品番号 004840



- **Sennheiser Ci 1-N**
(スクリューロック付き 3.5mm ジャック -6.3mm ジャック)
製品番号 005021



ラック取り付け用アクセサリ

GA 3 ラックマウント用キット

EM 100 G4、EM 300-500 G4 を 19 インチ ラックに取り付けるための
19 インチ ラックアダプター

製品番号 503167



AM 2 アンテナフロントマウントキット (別売)

EM 100 G4、EM 300-500 G4 を GA 3 ラックマウントキットで、ラックの前面にアンテナを接続する場合のアンテナフロントマウントキット

製品番号 009912

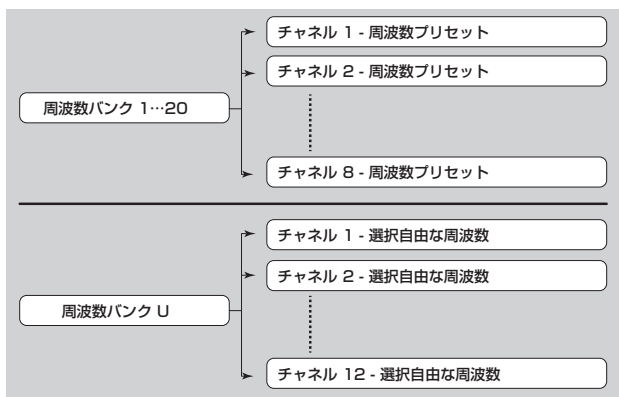


プリセットバンク周波数一覧

Channel	Bank 1	Bank 2	Bank 3	Bank 4	Bank 5	Bank 6	Bank 7	Bank 8	Bank 9	Bank 10										
1	B06.125	B11	B06.375	B12	B06.500	B22	B06.125	B11	B06.250	B21	B06.625	B31	B06.125	B11	B06.125	B11	B06.125	B11		
2	B06.875	B32	B06.375	B41	B07.000	B33	B06.500	B22	B06.625	B31	B06.625	B31	B07.125	B12	B06.750	B41	B06.750	B41	B07.250	B61
3	B07.375	B23	B07.250	B61	B07.750	B14	B07.000	B23	B07.125	B13	B07.625	B51	B07.875	B24	B07.250	B61	B08.000	B43	B08.250	B34
4	B07.750	B14	B07.625	B51	B08.375	B53	B07.750	B14	B07.875	B24	B08.000	B43	B08.500	B25	B08.000	B43	B08.375	B53	B08.625	B35
5	B08.375	B53	B08.250	B34	B08.875	B26	B08.250	B34	B08.375	B53	B08.750	B54	B09.000	B15	B08.625	B35	B08.125	B44	B08.125	B44
6	B08.750	B54	B08.625	B35	B09.250	B36	B08.625	B35	B08.750	B54	B09.250	B36	B09.375	B45	B08.125	B44	B09.500	B16	B09.500	B16
7	B09.250	B36	B09.125	B44		B09.250	B36	B09.375	B45	B09.625	B55									
8	B09.625	B55	B09.500	B16		B09.625	B55	B09.750	B46											
9																				
10																				
11																				
12																				

Channel	Bank 11	Bank 12	Bank 13	Bank 14	Bank 15	Bank 16	Bank 17	Bank 18	Bank 19	Bank 20				
1	B06.500	B22	B06.125	B11	B06.125	B11	B06.250	B21	B06.375	B12	B06.125	B11	B06.250	B21
2	B07.000	B23	B06.500	B22	B06.500	B22	B06.500	B22	B06.625	B31	B06.750	B41	B06.500	B22
3	B07.500	B14	B07.000	B23	B07.500	B14	B07.000	B23	B07.125	B13	B07.750	B14	B07.000	B23
4	B08.375	B53	B07.750	B14	B07.875	B24	B08.625	B35	B07.750	B14	B07.875	B24	B08.125	B25
5	B08.875	B26	B08.250	B34	B08.625	B35	B08.625	B35	B08.750	B54	B08.875	B26	B08.675	B26
6	B09.250	B36	B08.625	B35	B09.125	B44	B08.625	B35	B09.125	B44	B09.250	B36	B09.375	B45
7		B09.250	B36	B09.500	B16		B09.250	B36	B09.625	B55	B09.750	B46	B09.750	B46
8		B09.625	B55				B09.625	B55					B09.625	B55
9														B09.750
10														
11														
12														

各周波数域には 20 の周波数バンク、最大 8 のチャンネルがあります。

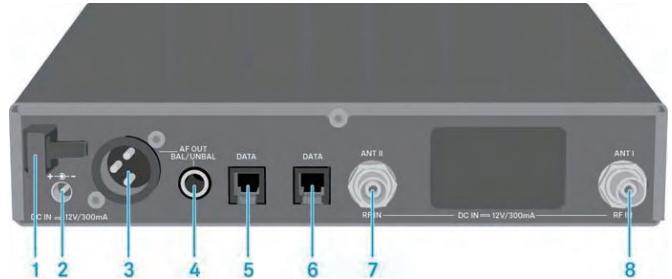


EM 100 G4 のセットアップ

本セクションには、EM 100 G4 のセットアップに関する詳細情報が記載されています。

デバイスの背面のコネクター

EM 100 G4 の製品背面の概略図



- 1 電源供給ユニットのケーブルのストレインリリーフ
- 2 電源供給ユニットの接続ケーブル (DC IN)
- 3 オーディオ出力用 XLR-3 ソケット、バランス (AF OUT BAL)
- 4 オーディオ出力用 6.3 mm ジャックソケット、アンバランス (AF OUT UNBAL)
- 5 RJ-10 インターフェイス (DATA)
- 6 RJ-10 インターフェイス (DATA)
- 7 BNC ソケット、アンテナ入力 II (ANT II) 遠隔電源供給ユニット接続
- 8 BNC ソケット、アンテナ入力 I (ANT I) 遠隔電源供給ユニット接続

EM 100 G4 を電源システムと接続する / 接続を切る

付属の電源供給ユニット以外は使用しないでください。このユニットはご使用の受信機のために設計され、安全にご使用いただけるようになっています。

EM 100 G4 を電源システムと接続するには：

- ▷ 電源供給ユニットのプラグを受信機の **DC IN** ソケットに差し込みます。
- ▷ 電源供給ユニットのケーブルをケーブルグリップに通します。
- ▷ 付属の各国用アダプターを電源供給ユニットにスライドします。
- ▷ 電源供給ユニットをコンセントに差し込みます。



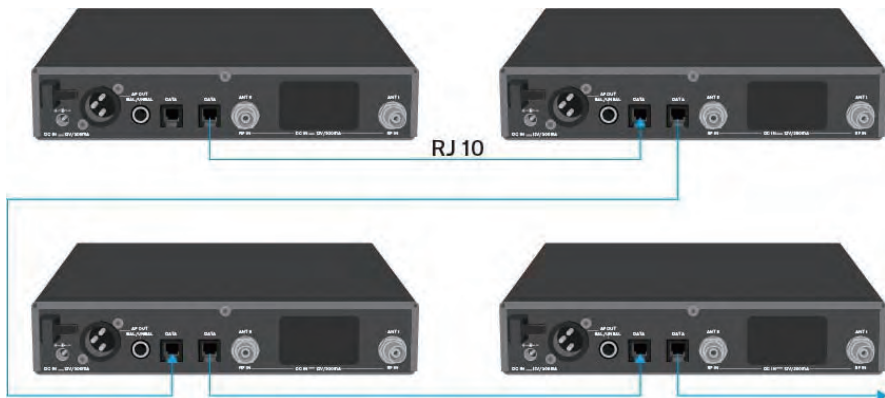
EM 100 G4 と電源システムとの接続を完全に切るには

- ▷ 電源供給ユニットを壁のコンセントから外します。
- ▷ 電源供給ユニットのプラグを受信機の **DC IN** ソケットから外します。

データネットワーク作成

2 つの DATARJ-10 インターフェイスを使用して、複数の EM 100 G4 をマルチチャンネルシステムにカスケード接続できます (最多で受信機 12 台)。**Easy Setup** 機能を使って、このデータネットワーク経由でマルチチャンネルシステム全体の周波数設定をすることができます。

- ▷ 図に示すように付属の RJ-10 ケーブルを使用して受信機を接続し、マルチチャンネルシステムを作ります。
両方の RJ-10 ソケットは互換性があります。配線には特に決まった順序はありません。



オーディオ信号の出力

EM 100 G4 にはバランス出力ソケット XLR-3M と 6.3 mm アンバランスジャック出力ソケットが付いています。

- ▷ 各チャンネルで常に 2 つある **AF OUT** 出力ソケットのうちから 1 つだけを使用してください。

XLR ケーブルを接続するには：

- ▷ XLR ケーブルを EM 100 G4 の **AF OUT BAL** ソケットに接続します。

ジャックケーブルを接続するには：

- ▷ ジャックケーブルを EM 100 G4 の **AF OUT UNBAL** ソケットに接続します。



アンテナの接続

付属のロッドアンテナの接続は、

- ▷ 最初のロッドアンテナを、EM 100 G4 背面の **ANT I** ソケットに接続します。
- ▷ 2 番目のロッドアンテナは、EM 100 G4 背面の **ANT II** ソケットに接続します。
- ▷ 図に示すようにロッドアンテナを静かにV字型に広げます。



EM 100 G4 のラック設置

注意

ラックマウントには危険が伴います。

デバイスを閉鎖型またはマルチラック型のアセンブリに取り付けるときは、操作中の周囲温度、機械的負および電位が、ラックに取り付けられない装置とは異なることにご留意ください。

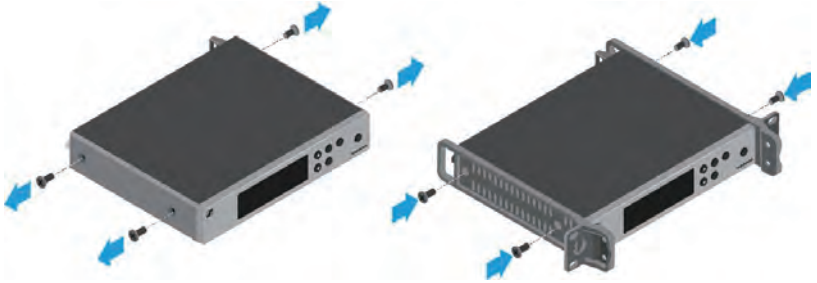
- ▷ ラック内の周囲温度が仕様に規定されている許容温度制限を超えないようにしてください。
 - ▷ 十分な換気を心がけ、必要に応じて換気を繰り返し行ってください。
 - ▷ ラックにかかる機械的負荷が均一になるようにしてください。
 - ▷ 電源装置に接続するときは、型板に記載されている情報を確認してください。回路に過負荷がかからないようにしてください。必要に応じて過電流保護を行ってください。
 - ▷ ラックに取り付ける際には、個々の電源ユニットからリークする電流それ自体は無害ですが、蓄積して許容限界値を越えることもありますのでご注意ください。対処法として、追加のアースでラックを接地してください。
-

受信機を 1 台単独でラックに設置する

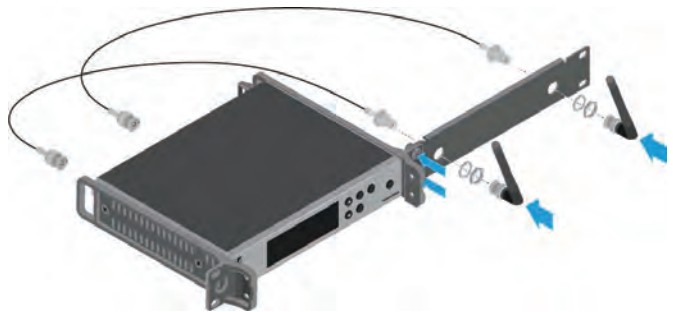
受信機をラックに取り付けるには、付属の GA 3 ラックマウントキットが必要です。

GA 3 ラックマウントキットの取り付け角度を固定するには：

- ▷ 受信機の両側にある 2 つの十字穴付き小ねじ (M4x8) を取り外します。
- ▷ 取り外した十字穴付き小ねじを使用して、受信機両側の取り付け角度を両方とも固定します。



- ▷ 2 つの十字穴付き小ねじ (M6x10) を使用してブランキングプレートを取り付け角度の 1 つに固定します。
- ▷ AM 2 アンテナのフロントマウントセット (別売) を取り付け、ブランキングプレートにロッドアンテナを取り付けます。

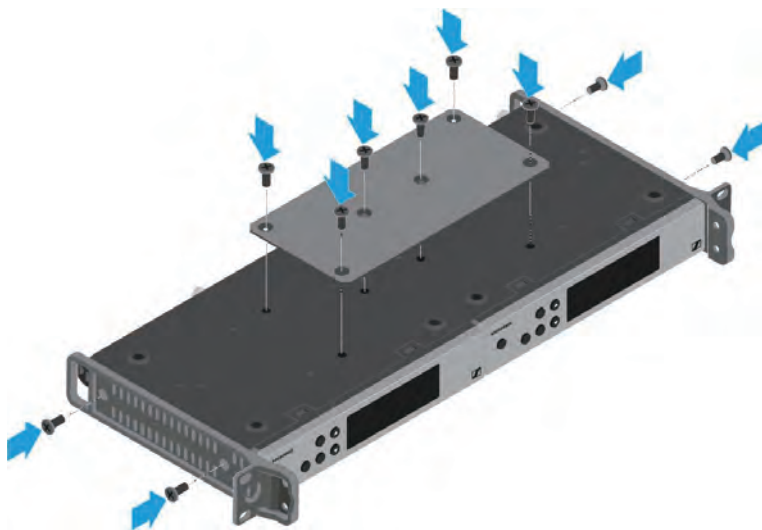


- ▷ マウントされたブランキングプレート付きの受信機を 19 インチラックにスライドさせます。
- ▷ 取り付け角度とブランキングプレートを 19 インチラックに固定します。
- ▷ 取り付けられたアンテナを V 字型に調整します。

受信機 2 台を並べてラックに設置する

付属の GA 3 ラックマウントキットで受信機を取り付けるには：

- ▷ 両方の受信機を上下逆に、平らな面の上に並べます。
- ▷ 6 つの十字穴付き小ねじ (M3x6) を使用して、トランスミッターにジョイントプレートを固定します。
- ▷ 取り付け角度を固定します。



SKM 100 G4 のセットアップ

本セクションには、SKM 100 G4 のセットアップに関する詳細情報が記載されています。

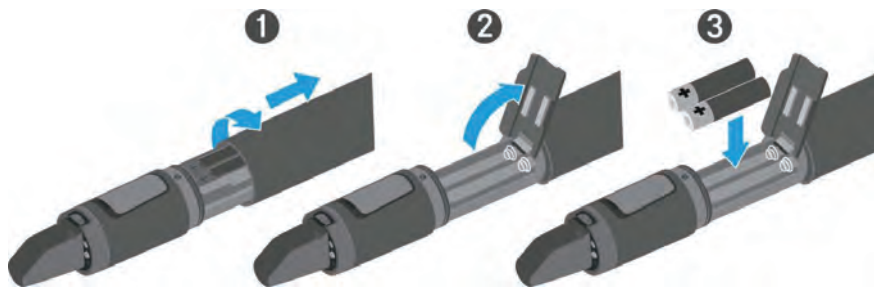
バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し

ワイヤレスマイクは、バッテリー（単三電池 1.5 V）でもゼンハイザーの充電式 BA 2015 バッテリーでも使用できます。

- ▷ ワイヤレスマイクの後部を矢印の方向（反時計回り）に回してワイヤレスマイクのハンドルを外します。









i 使用中にワイヤレスマイクの後部を回し緩めると、自動でミュートになります。MUTE がディスプレイパネルに表示されます。ワイヤレスマイクの後部を回し閉めると、ミュートが解除されます。

- ▷ ワイヤレスマイクの後部を完全に引き出します。
- ▷ バッテリーコンパートメントのカバーを開きます。
- ▷ カバーに示されているように、バッテリーコンパートメントにバッテリーまたは BA 2015 充電式バッテリーを入れます。バッテリー / バッテリーパックの挿入時には、極の方向が正しいことを確認してください。

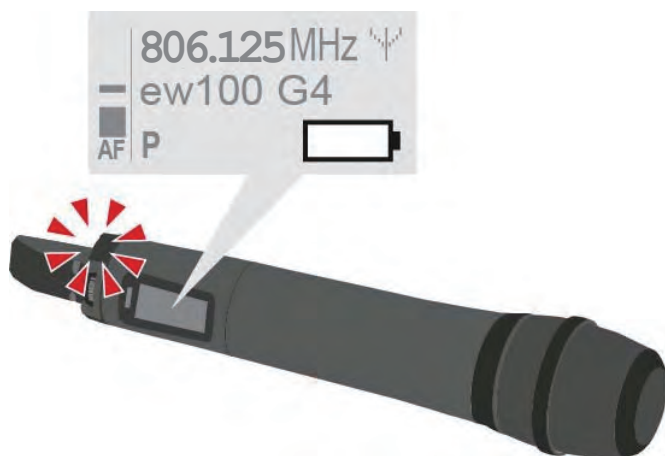


- ▷ カバーを閉じます。
- ▷ バッテリーコンパートメントをワイヤレスマイクのハンドルに押し込みます。
- ▷ ワイヤレスマイクの後部を回してハンドルをもとの位置に戻します。

バッテリー残量

	100 %	> 8 h
	70 %	4 - 6 h
	30 %	2 - 3 h
LOW BATT   		
		

バッテリー残量が少ない時 (LOW BATT) :



マイクモジュールの交換

- ▷ マイクモジュールのネジを回して外してください。
- ▷ 希望のマイクモジュールを付けます。



i ワイヤレスマイクのコンタクトやマイクモジュールのコンタクトに触れないでください。コンタクトに触れると、汚れたり折れ曲がったりする場合があります。

使用中にマイクモジュールを外すと、自動でミュートになります。**MUTE** がディスプレイパネルに表示されます。マイクをもとに戻すと、ミュートが解除されます。

SK 100 G4 のセットアップ

本セクションには、SK 100 G4 のセットアップに関する詳細情報が記載されています。

バッテリー / 充電式バッテリーの挿入と取り外し







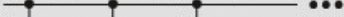
ボディバック型送信機は、バッテリー（単三電池 1.5 V）でもゼンハイザーの充電式 BA 2015 バッテリーでも使用できます。

- ▷ 2 箇所の留め金を押してバッテリーコンパートメントカバーを開きます。
- ▷ 下のようにバッテリーまたは充電式バッテリーを挿入します。バッテリーの挿入時には、極の方向が正しいことを確認してください。

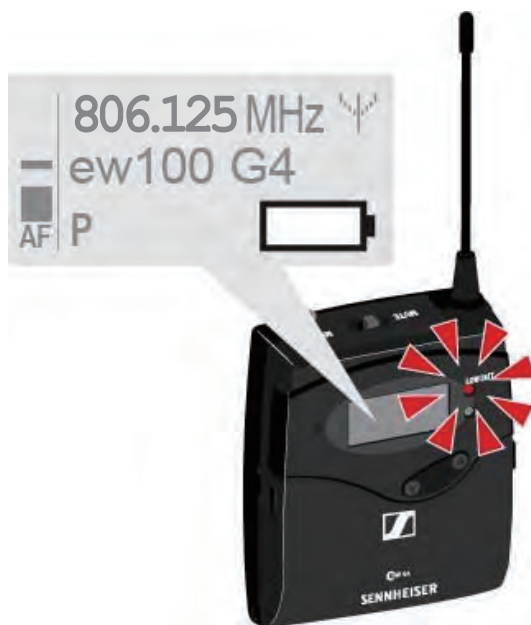


- ▷ バッテリーコンパートメントを閉じます。
カバーはカチッと音がしてロックがかかります。

バッテリー残量

	100 %	> 8 h
	70 %	4 - 6 h
	30 %	2 - 3 h
LOW BATT 	 ○ 	

バッテリー残量が少ない時 (LOW BATT) :



マイクを SK 100 G4 に接続する

マイクをボディパック型送信機に接続するには：

- ▷ ケーブルの 3.5 mm ジャックプラグを図のようにボディパック型送信機の MIC/LINE ソケットに差し込みます。
- ▷ ボディパック型送信機のオーディオソケットのネジにプラグのカップリングリングをねじ込みます。



楽器やラインソースを SK 100 G4 に接続する

ボディパック型送信機には、楽器やラインレベルのオーディオソースを接続できます。

そのためには **Ci 1-N** (スクリューロック式 3.5mm ジャック -6.3mm ジャック) または **CL 2** (スクリューロック式 3.5mm ジャック -XLR) のゼンハイザーケーブルが必要です。

ボディパック型送信機に楽器やラインソースを接続するには：

- ▷ ケーブルの 3.5 mm ジャックプラグを図のようにボディパック型送信機の MIC/LINE ソケットに差し込みます。
- ▷ ボディパック型送信機のオーディオソケットのネジにプラグのカップリングリングをねじ込みます。



ボディバック型送信機を衣服に装着する

ベルトクリップを使って、ボディバック型送信機をご自分のウェストベルトまたはギターストラップにつけることができます。

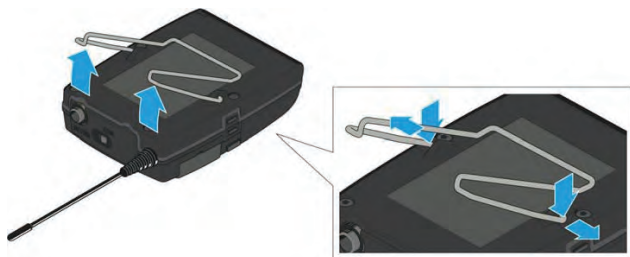
ベルトクリップは取り外しが可能で、ボディバック型送信機のアンテナを下方に向けることができます。取り外すにはベルトクリップを固定箇所から引張り、反対側に取り付けます。

誤って移動してしまわないよう、ベルトクリップは固定できます。



ベルトクリップを外すには：

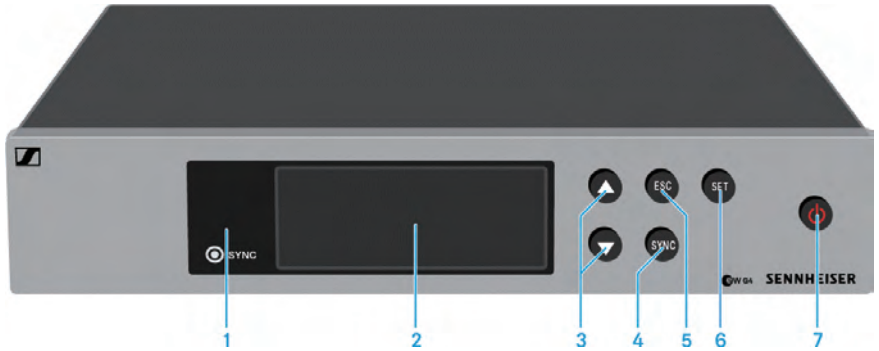
- ▷ 図のようにベルトクリップを持ち上げます。
- ▷ クリップの片方を固定穴で下向きに押し送信機のハウジングから引き出します。
- ▷ もう一方も同様にします。



EM 100 G4 の使用

EM 100 G4 製品各部の名称

EM 100 G4 製品前面の概略図前面の説明



- 1 青色 LED 付き赤外線インターフェイス
- 2 ディスプレイパネル
- 3 ▲UP/▼DOWN ボタン
- 4 Sync ボタン
- 5 ESC (終了) ボタン
- 6 SET ボタン
- 7 STANDBY ボタン

EM 100 G4 電源のオン / オフ

電源をオンにするには：

- ▷ **STANDBY** ボタンを短く押します。
ゼンハイザーロゴが表示されたのち、起動します。



スタンバイモードにするには：

- ▷ ディスプレイパネルに OFF が表示されるまで **STANDBY** を長押しします。
ディスプレイパネルが切れます。

電源を完全にオフにするには：

- ▷ コンセントから電源ユニットを外して、電源システムと受信機の接続を切ります。

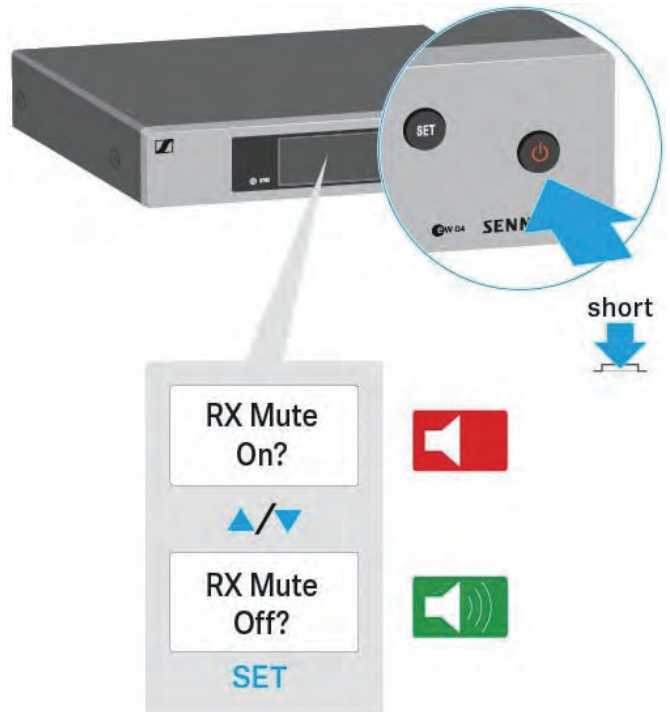
オーディオ出力のミュート

受信機のオーディオ信号をミュートにするには：

- ▷ 標準画面で **STANDBY** ボタンを短く押します。RX Mute On? と表示されます。
(表示されていない場合、▲UP/▼DOWN ボタンで RX Mute On に切り替えます。)
- ▷ **SET** ボタンを押します。
オーディオ信号がミュートされました。

ミュートを解除するには：

- ▷ **STANDBY** ボタンを短く押します。RX Mute Off? と表示されます。
(表示されていない場合、▲UP/▼DOWN ボタンで RX Mute Off に切り替えます。)
- ▷ **SET** ボタンを押します。
オーディオ出力のミュートが解除されます。



EM 100 G4 操作方法

EM 100 G4 の操作には、次のボタンを使用します。



ESC ボタンを短く押す。

- 入力をキャンセルし前の画面に戻ります。

ESC ボタンを長押し。

- 入力をキャンセルしホーム画面に戻ります



SET ボタンを押す

- 現在の標準画面から操作メニューに変わります
- メインメニューが表示されます
- サブメニューに進みます
- 設定を保存し操作メニューに戻ります

UP



DOWN



▲ **UP** または ▼ **DOWN** ボタンを押す。

- 標準画面を選択します。
- 前または次のメニューに移動します
- メニューの設定を変更します

ディスプレイ概要

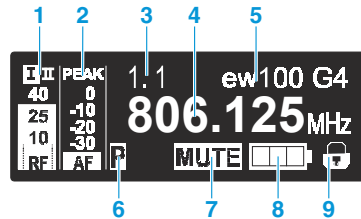
EM 100 G4 操作方法

受信機のスイッチを入れると、ディスプレイパネルにはゼンハイザーのロゴが表示されます。しばらくするとホーム画面が表示されます。

ホーム画面には3つの標準画面があります。

▲ UP/ ▼ DOWN ボタンで切り替えが可能です。

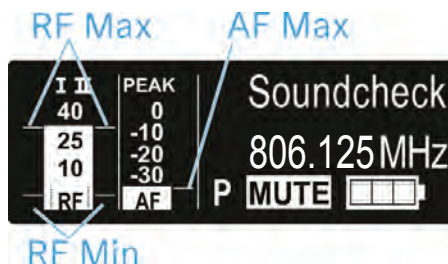
標準画面 ①



- 1 RF 受信レベル (電波)
 - ・ RF 信号レベル表示。
 - ・ スケルチ検知レベル表示。
- 2 AF オーディオレベル (オーディオ周波数)
 - ・ 送信機のオーディオレベルを表示
 - ・ オーディオレベルの表示がフルスケールの時は、オーディオ入力レベルが非常に高くなっている状態です。
- 3 周波数バンクとチャンネル
 - ・ 現在の周波数バンクとチャンネル数
- 4 周波数
 - ・ 現在の受信周波数。
- 5 名前
 - ・ 現在設定されている名前を表示。
- 6 パイロットトーン
 - ・ P マークが表示されている時は、パイロットトーンが有効の状態です。
- 7 MUTE 機能
 - ・ “MUTE” の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。
- 8 送信機のバッテリー残量
- 9 ロックモードアイコン
 - ・ Auto Lock が有効になっている時に表示されます。

標準画面 ② Soundcheck

Soundcheck 画面は送信機と受信機間の伝送品質を示します。



サウンドチェックを行うことで、送信機を使用する領域全体で十分な伝送品質を確保しているか確認することができます。

確保できていない場合、人の手を借りずに最適化することが可能です。

- ▷ 送信機を持ちながら、使用するエリアを歩き回る。
受信機は、以下のパラメーターを記録します。

RF Min

- 最小 RF 信号受信レベル
- これは 2 つのアンテナのいずれかでスケルチ検知レベルを十分に超えている必要があります。

最適化する方法

- ▷ アンテナとアンテナケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
- ▷ アンテナの位置を調整します。
- ▷ 必要に応じてアンテナブースターを使用します。

RF Max

- 最大 RF 信号受信レベル
- 両アンテナが 40 dB μ V に達することが必要です

最適化する方法

- ▷ アンテナとアンテナケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。
- ▷ アンテナの位置を調整します。
- ▷ 必要に応じてアンテナブースターを使用します。

AF Max

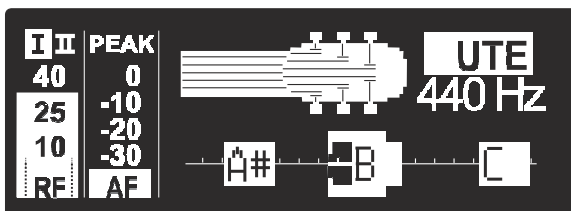
最大オーディオレベル

最適化する方法

送信機では、PEAK が表示されない範囲で、オーディオレベルを可能な限り高く調整してください (AF Max は PEAK 表示のレベルです)。

標準画面 ③ Guitar Tuner

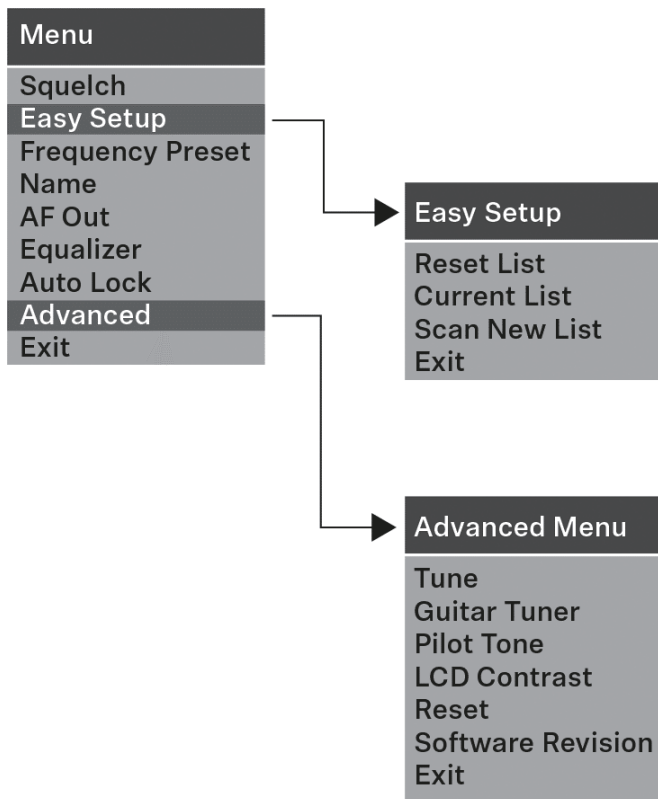
Guitar Tuner 標準画面にはギターチューナーが表示されます (SK 100 G4のみ)。



Guitar Tuner 画面は出荷時には無効になっています。この標準画面を使用するには、Guitar Tuner メニューで有効にする必要があります。

メニューの概要

図は EM 100 G4 メニュー構造全体の概要を示しています。



Squelch メニュー

Squelch メニューでスケルチ検知レベルの調整を行えます。

設定範囲：

- **Low** >> 5 dB μ V
- **Middle** >> 15 dB μ V
- **High** >> 25 dB μ V

スケルチ検知レベルはホーム画面の RF 信号レベル部に表示されます。



注意

聴力、機材への損傷

スケルチ検知レベルを低くしすぎると、シューという大きなノイズが受信機で発生することがあります。このノイズは大きく、聴覚の障害やシステムのラウドスピーカーの損傷を招くことがあります。

- ▷ スケルチ検知レベルを調整する前に、オーディオ出力の音量を最小に設定してください。
 - ▷ ライブ伝送中にスケルチ検知レベルの変更は絶対にしないでください。
-

Squelch メニューを開くには：

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲UP**または **▼DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **Squelch** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **SET** ボタンを押しして設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Easy Setup メニュー

Easy Setup メニューでスキャンすることにより電波干渉を避けた周波数を設定できます。



スキャンを実行する前に全ての送信機のスイッチを切ってください。送信機がオンになったままだと利用不可能な周波数として検知されるため、実際に使用可能な周波数が使用できません。

スケルチ検知レベル設定により結果が異なります。可能な限り多くの周波数に対して、スケルチ検知レベルを **Low** に設定し、安全な運用を最優先にする場合はスケルチ検知レベルを **High** に設定してください。

Easy Setup メニューを開くには

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ ▲ **UP** または ▼ **DOWN** ボタンを押して選択した枠内に **Easy Setup** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押してメニューを開きます。



Scan New List

- ▷ **Scan New List** を選択して現在使用中の電波を感知し、空いている周波数を自動で検索します。(周波数プリセット)
- ▷ スキャンを開始するには、**SET** ボタンを押します。
受信機の周波数域がスキャンされます。各周波数バンクで使用されていない周波数の数が表示されます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して周波数バンクを選択します。
- ▷ 選択を確認するには **SET** ボタンを押します。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して選択したバンクから未使用の周波数を選択します。

- ▷ **SET** ボタンを押して選択を保存します。

- ▷ **Sync** ボタンを押して選択した周波数を送信機と同期させます。

Current List

- ▷ **Current List** を選択して最後にスキャンした周波数リストを表示します。
スキャンしていない場合や **Reset List** を行なった場合は、最大使用可能数のバンクチャンネルが表示されます。

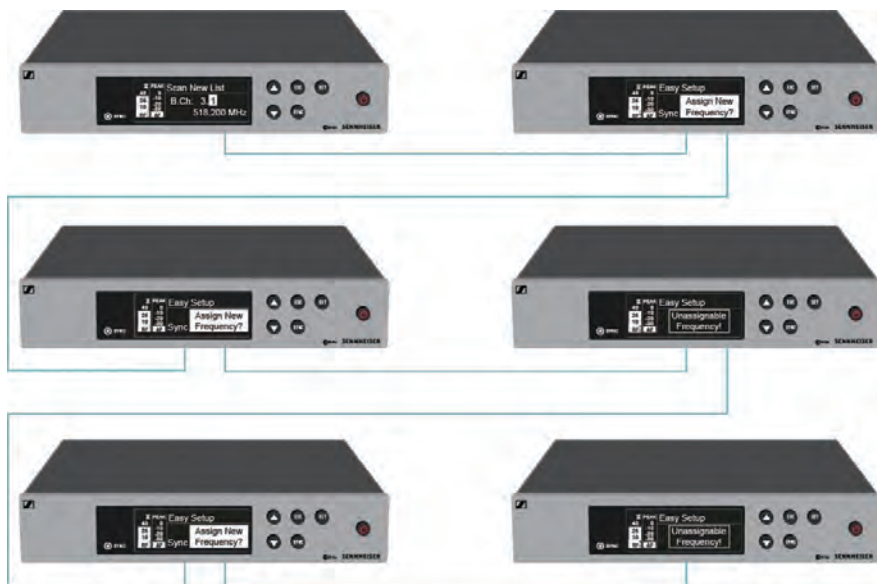
Reset List

- ▷ **Reset List** を選択して **Current List** をデフォルトに戻します。

マルチチャンネル周波数設定

複数の受信機で同時に周波数設定を実行するには：

- ▷ 受信機すべてひとつのネットワークに接続します。
- ▷ **マスター受信機となる 1 台から Easy Setup** メニューを開きます。
どの受信機をマスターにしても構いません。
- ▷ マスター受信機で周波数スキャンを行います。スキャンの後、他の受信機のディスプレイパネルに「Assign New Frequency ?」というメッセージが表示されます。
- ▷ マスター受信機で最初の受信機の未使用周波数を選択します。
- ▷ 選択した周波数を割り当てる受信機の **SET** ボタンを押します。

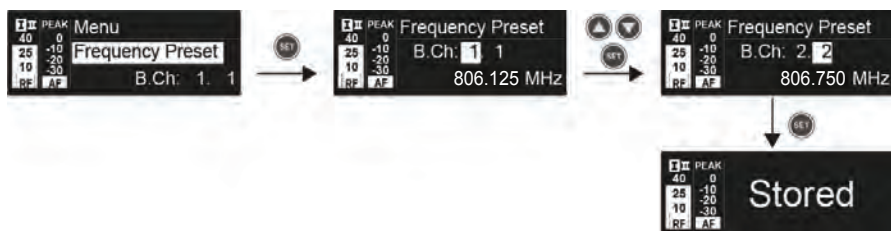


Frequency Preset メニュー

Frequency Preset メニューでは、周波数バンクとチャンネルを調整して受信機の受信周波数を調整することができます。

Frequency Preset メニューを開くには：

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して選択した枠内に **Frequency Preset** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



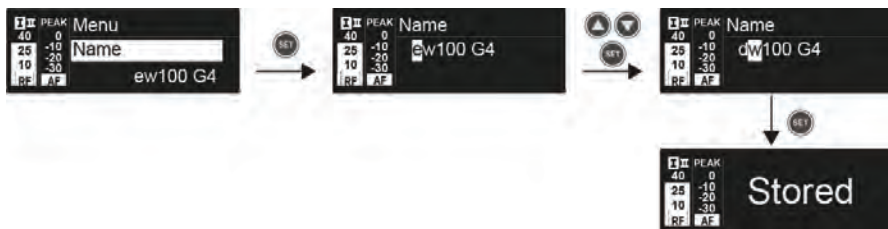
- ▷ **SET** ボタンを押して設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Name メニュー

Name メニューでは、名前を入力できます。

Name メニューを開くには

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して選択した枠内に **Name** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **SET** ボタンを押して設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

AF Out メニュー

AF Out メニューで、受信機のオーディオ出力レベルの設定ができます。

設定範囲：

- -24 dB ~ +18 dB まで 3 dB ステップで変更可能。

AF Out メニューを開くには、

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押して操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して選択した枠内に **AF Out** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押してメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **SET** ボタンを押して設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Equalizer メニュー

Equalizer メニューで出力信号の周波数応答を変更できます。低域を下げ、高域を上げることができます。

Equalizer メニューを開くには、

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **Equalizer** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ 希望の設定をするには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
- ▷ **SET** ボタンを押しして設定に加えた変更を保存するか、または
- ▷ **ESC** ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Auto Lock メニュー

Auto Lock メニューで Auto Lock 機能を有効または無効にできます。

Auto Lock メニューを開くには：

- ▷ ホーム画面で **SET** ボタンを押し操作メニューを開きます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押しして選択した枠内に **Auto Lock** メニューが表示されるようにします。
- ▷ **SET** ボタンを押ししてメニューを開きます。
- ▷ 希望の設定に調整します。



- ▷ **SET** ボタンを押しして設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ **ESC** ボタンを押しして設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Auto Lock を有効にすると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

▷ **SET** ボタンを押します。

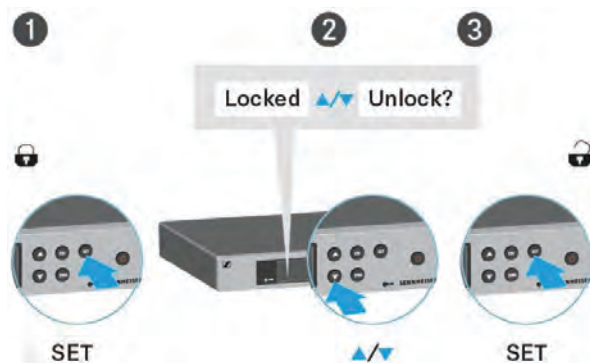
Locked がディスプレイパネルに表示されます。

▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。

Unlock ? がディスプレイパネルに表示されます。

▷ **SET** ボタンを押します。

これでロックは一時的に解除されます。



操作メニューでは、

>> 一時ロック解除後、ただちにロックされることはありませんので操作メニューで操作が可能です。

標準画面のいずれかが表示されているときは、

>> 一時ロック解除後、約 10 秒で再ロックされます。

Advanced -> Tune メニュー

Advanced サブメニューの Tune メニューで、U 周波数バンクの受信周波数を設定できます。

U 周波数バンクでは合計 12 の周波数を保存できます。

周波数のみ調整する

- ▷ Advanced メニューから、Tune のメニューを開きます。
- ▷ 設定を調整します。



- ▷ SET ボタンを押して設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ ESC ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

チャンネルと周波数を設定する

- ▷ Tune メニューを選択し、チャンネル選択画面が表示されるまで SET ボタンを長押しします。
- ▷ 設定を調整します。

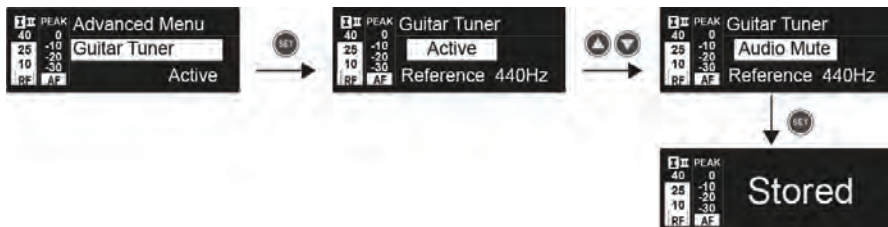


- ▷ SET ボタンを押して設定に加えた変更を保存するか、
- ▷ ESC ボタンを押して設定を保存せずに入力内容をキャンセルします。

Advanced -> Guitar Tuner メニュー

Advanced サブメニューの **Guitar Tuner** メニューでギターチューナーオプションの調整ができます。

ギターチューナーが有効な時、ホーム画面にギターチューナーが表示されるようになります。



- **Inactive** : ギターチューナーは無効です。
- **Active** : ギターチューナーは有効です。
- **Audio mute** : ギターチューナーは有効です。

Guitar Tuner がホーム画面の標準画面に表示されたら、オーディオ信号はミュートになります。

Advanced -> Pilot Tone メニュー

Advanced サブメニューの **Pilot Tone** メニューでパイロットトーンを有効または無効にすることができます。



本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

i 安全のためにパイロットトーン を有効にすることを推奨します。

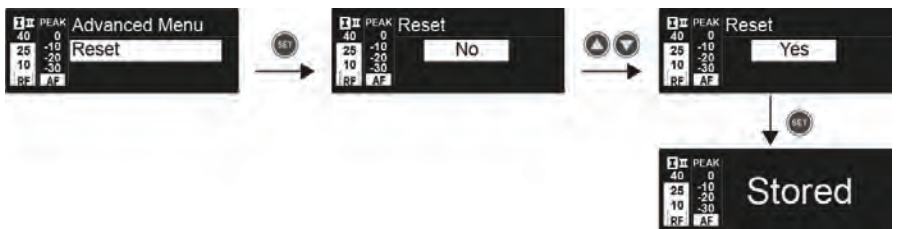
Advanced -> LCD Contrast メニュー

Advanced サブメニューの LCD Contrast メニューでディスプレイパネルのコントラストを調整できます。



Advanced -> Reset メニュー

Advanced サブメニューの Reset メニューで、受信機の設定をすべて工場出荷時の設定にリセットできます。

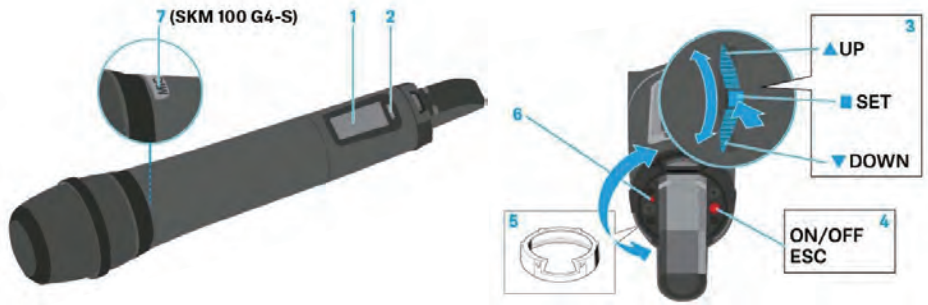


Advanced -> Software Revision メニュー

Advanced サブメニューの Software Revision メニューで、受信機に使用されているソフトウェアのバージョンを表示できます。

SKM 100 G4 の使用

SKM 100 G4 各部の名称



- 1 ディスプレイパネル
- 2 赤外線インターフェイス
- 3 マルチファンクションスイッチ
- 4 ON/OFF ボタン
 - ・電源のオン、オフを行います。
 - ・ESC (終了) 機能
- 5 識別カラーリング
 - ・多機能スイッチの保護も兼ねています。
- 6 操作とバッテリーインジケータ、赤色 LED
 - ・点灯 = 電源 ON
 - ・点滅 = 低バッテリー
- 7 MIC ボタン (SKM 100 G4-S のみ)

SKM 100 G4 電源のオン / オフ

電源をオンにするには：

- ▷ ゼンハイザーのロゴがディスプレイに表示されるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。



電源をオフするには：

- ▷ ディスプレイが消えるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

ハンドヘルド送信機の RF ミュート

RF 信号は、マイクのスイッチを入れる際一時的に無効にできます。RF 信号が無効になると、オーディオ信号は出力されません。

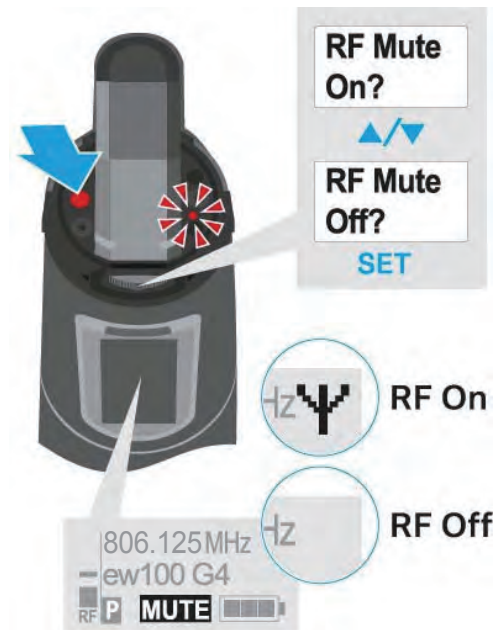
バッテリーの節減のため、または現在の伝送経路に干渉しないようにマイクを準備したい時、この機能が役立ちます

RF 信号を無効にするには：

- ▷ **ON/OFF** ボタンを短く押します。
RF Mute On ? と表示されます。
- ▷ **SET** ボタンを押します。
送信周波数が表示されますが、ワイヤレスマイクは RF 信号を出しません。
アンテナアイコンは点灯しません

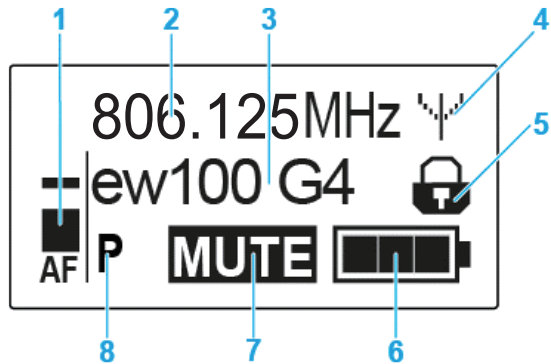
RF 信号を有効にするには：

- ▷ **ON/OFF** ボタンを短く押します。
RF Mute Off? と表示されます。
- ▷ **SET** ボタンを押します。
アンテナアイコンが再度表示されます。



ディスプレイ概要

送信機のディスプレイでは次の情報を見ることができます。



- 1 AF = オーディオレベル (音声)**
 - ・オーディオレベルをピーク保持機能で表示します。
- 2 周波数**
 - ・現在の送信周波数です。
- 3 名前**
 - ・現在設定されている名前を表示。
- 4 アンテナアイコン**
 - ・アンテナアイコンが表示されている時は、RF 信号（電波）が伝送されている状態です。
- 5 ロックモードアイコン**
 - ・ **Auto Lock** が有効になっている時に表示されます。
- 6 バッテリー残量**
- 7 MUTE 機能**
 - ・“MUTE” の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。
- 8 パイロットトーン**
 - ・P マークが表示されている時は、パイロットトーンが有効の状態です。

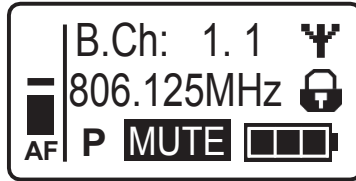
標準画面の選択

▷ マルチファンクションスイッチを動かして標準画面を選択します：

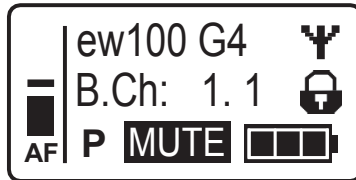
周波数 / 名前の標準画面



チャンネル / 周波数の標準画面



名前 / チャンネルの標準画面



SKM 100 G4 操作方法

メニュー移動

メニューを開くには、

- ▷ **SET** ボタンを押します。
操作メニューが送信機のディスプレイパネルに表示されます。

メニューを開くには、

- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して各メニュー間を移動します。
- ▷ **SET** ボタンを押して選択したメニューを開きます。

メニュー内容の変更

メニューを開いた後次の変更ができます。

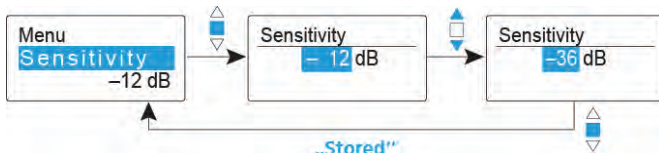
- ▷ 表示された値を設定するには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。
- ▷ 設定を保存せずにそのメニューを終了するには、**ON/OFF** ボタンを押します。

メニュー概要

メニューでは、以下の設定と情報の表示が行えます。

Sensitivity メニュー

- 入力感度—AF オーディオレベルの調整



設定範囲：0 dB ~ -48 dB まで 6 dB ステップで変更可能。

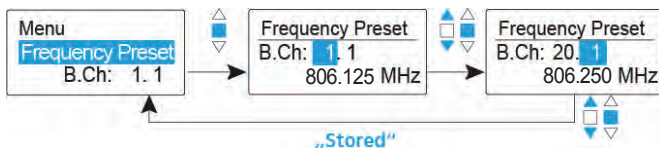
ワイヤレスマイクがミュートになっている時には AF オーディオレベルが表示されません。

推奨プリセット：

- 大音量の音楽 / ボーカル：-48 ~ -18 dB
- モデレーション：-18 ~ -12 dB
- インタビュー：-12 ~ 0 dB

Frequency Preset メニュー

- 周波数バンクとチャンネルのマニュアル選択



i Frequency Preset メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

マルチチャンネルシステムを作る際には以下の点にご注意ください。

Sennheiser オリジナル周波数プランでは、最大 8 波での運用が可能です（環境により変動）。他の周波数プランでは相互変調が発生し運用が困難になりますので、プランをご確認の上、ご使用ください。

Name メニュー

- 名前を入力



Name メニューでは、ワイヤレスマイクに好きな名前を入力できます。
この名前は、**周波数 / 名前**および**名前 / チャンネル**の標準画面に表示されます。
名前は最大で 8 文字です。

- ウムラウトのついた文字は使えません。
- 0 ~ 9 の数字が使えます
- 特殊な文字やスペースが使えます

以下のようにして名前を入力してください。

- ▷ マルチファンクションスイッチを動かして文字を選択します。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押して次のスペースに移るか、入力が完了したら名前を保存します。

Auto Lock メニュー

- Auto Lock 機能のオン、オフ切り替え



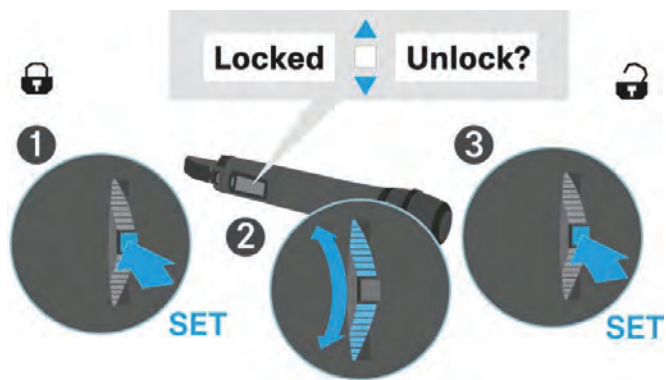
Auto Lock 機能は、ワイヤレスマイクのスイッチを意図せず切るのを防ぐほか、送信機の設定を意図せず切り替えるのを防ぎます。現状の標準画面では、ロックアイコンは Auto Lock 機能がオンになっているかどうかを示します。

Auto Lock を有効にすると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

- ▷ **SET** ボタンを押します。
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。
Unlock ? がディスプレイパネルに表示されます。

- ▷ **SET** ボタンを押します。
これでロックは一時的に解除されます。



Advanced -> Tune メニュー

- 送信周波数と周波数バンクの設定
ワイヤレスマイクをシステムバンクに設定し、**Tune** メニューを選ぶと、周波数バンク **U** のチャンネル **1** が自動的に設定されます。メッセージ **U.1** が画面に短時間表示されます。工場出荷時設定では、周波数バンク **U** のチャンネルはどの送信周波数にも割り当てられていません。

Tune メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

現在のチャンネルの送信周波数を設定するか、周波数バンク **U** でチャンネルを選択してこのチャンネルの送信周波数を **Tune** メニューで設定できます。周波数を選択する際は、「設定に関する諸注意」をご参照ください。

現在のチャンネルの送信周波数は以下のように設定します。

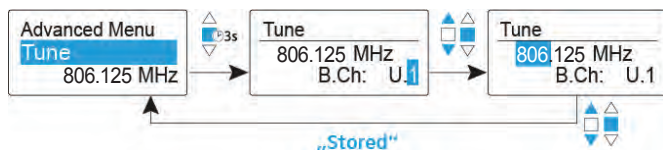
- ▷ **Advanced** メニューから、**Tune** メニューを開きます。
周波数選択が表示されます。



- ▷ 希望の周波数を設定します。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押します。
設定が保存されます。操作メニューに戻ります。

チャンネルの選択と周波数の割り当ては、次の手順で行います。

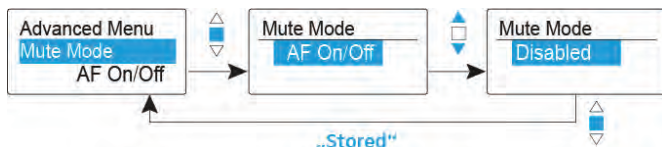
- ▷ マルチファンクションスイッチを動かして **Tune** メニューを表示させます。
- ▷ マルチファンクションスイッチを長押しし、周波数バンク選択画面を表示させます。



- ▷ 希望のチャンネルを設定します。
- ▷ マルチファンクションスイッチを押します。
周波数選択が表示されます。
- ▷ 周波数を設定します。

Advanced > Mute Mode メニュー (SKM 100 G4-S のみ)

- MIC ボタンに機能を設定する



モード	機能
AF On/Off	MIC ボタンを押すと、オーディオ信号は伝送されません。
Disabled (無効)	機能しません

ミュートの ON/OFF の方法は下記をご覧ください。

SKM 100 G4

トランスミッターのオーディオ信号はミュートにできません。
しかし RF 信号を無効にすると AF 信号は出力されません。

SKM 100 G4-S

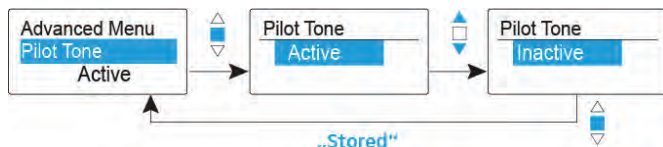
オーディオ信号のミュートは、MIC スイッチで行います。



- MIC ボタンが赤に点灯：オーディオ信号が有効になります
- MIC ボタンが点灯しない：オーディオ信号がミュートになります

Advanced -> Pilot Tone メニュー

- パイロットトーンを有効または無効にする



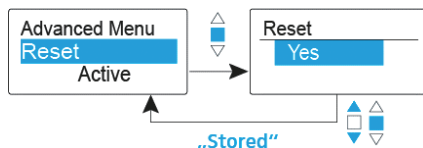
本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

Advanced -> LCD Contrast メニュー

- ディスプレイパネルのコントラストを調整する
ディスプレイのコントラストを 16 段階から選択できます。

Advanced -> Reset メニュー

- ワイヤレスマイクのリセット



ワイヤレスマイクをリセットする場合、パイロットトーンと U 周波数バンクの選択した設定のみが保持されます。

Advanced -> Software Revision メニュー

- ソフトウェアの情報を表示する
現在のソフトウェア情報を表示できます。

SK 100 G4 の使用

SK 100 G4 各部の名称



- 1 ディスプレイパネル
- 2 操作とバッテリーインジケーター、赤色 LED
 - ・点灯 = 電源 ON
 - ・点滅 = 低バッテリー
- 3 AF PEAK インジケーター、黄色の LED
 - ・点灯 = AF PEAK (過負荷)
- 4 ▲ UP ボタン
- 5 SET ボタン
- 6 ▼ DOWN ボタン
- 7 ON/OFF ボタン
 - ・電源のオン、オフを行います。
 - ・ESC (終了) 機能
- 8 赤外線インターフェイス
- 9 MUTE スイッチ
 - ・オーディオ信号のオン・オフまたは、RF 信号のオン・オフ。

SK 100 G4 電源のオン / オフ

▷ 2 箇所の留め金を押してバッテリーカバーを開きます。

SK 100 G4 の電源をオンにするには：

▷ センハイザーのロゴがディスプレイに表示されるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。



SK 100 G4 の電源をオフにするには、

▷ ディスプレイが消えるまで **ON/OFF** ボタンを長押しします。

ボディバック送信機の RF 信号ミュート

RF 信号は、ON/OFF ボタンで無効にできます。

RF 信号を無効にするには、

- ▷ オン / オフボタンを短く押します。

RF Mute On ? と表示されます。

- ▷ SET ボタンを押します。

RF 信号が無効になりました。MUTE メッセージが画面に表示され、アンテナアイコンが表示されなくなります。



RF 信号を有効にするには、

- ▷ オン / オフボタンを短く押します。

RF Mute Off? と表示されます。

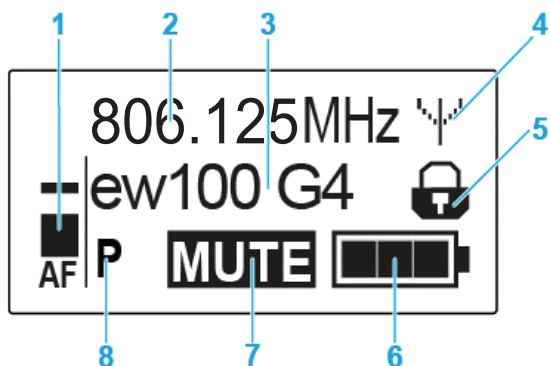
- ▷ SET ボタンを押します。

アンテナアイコンが再び表示されます。

- ▷ MUTE スイッチで RF 信号をミュートする方法は、Advanced サブメニューの Mute Mode ご参照ください。

ディスプレイ概要

送信機のディスプレイでは次の情報を見ることができます。

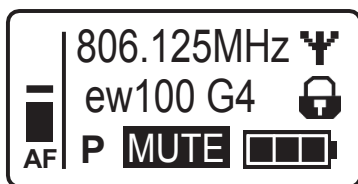


- 1 AF オーディオレベル（音声）
 - ・オーディオレベルをピーク保持機能で表示します。
- 2 周波数
 - ・現在の送信周波数です。
- 3 名前
 - ・現在設定されている名前を表示。
- 4 アンテナアイコン
 - ・アンテナアイコンが表示されている時は、RF 信号（電波）が伝送されている状態です。
- 5 ロックモードアイコン
 - ・Auto Lock が有効になっている時に表示されます。
- 6 バッテリー残量
- 7 MUTE 機能
 - ・MUTE の表示がある時は、オーディオ信号をミュートしている状態です。
- 8 パイロットトーン
 - ・P マークが表示されている時はパイロットトーンが有効の状態です。

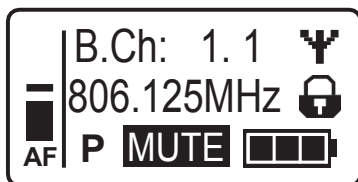
標準画面を選択します

▷ ▲UP または▼DOWN ボタンを押して標準画面を選択します。

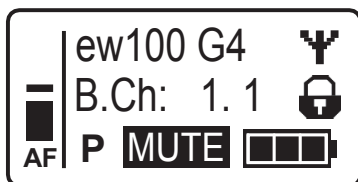
周波数 / 名前の標準画面



チャンネル / 周波数の標準画面



名前 / チャンネルの標準画面



SK 100 G4 操作方法

メニュー移動

メニューを開くには、

▷ **SET** ボタンを押します。

操作メニューが送信機のディスプレイパネルに表示されます。

メニューを開くには、

▷ **▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押して各メニュー間を移動します。

▷ **SET** ボタンを押して選択したメニューを開きます。

メニューの変更

メニューを開いた後次の変更ができます。

▷ 表示された値を設定するには、**▲ UP** または **▼ DOWN** ボタンを押します。

▷ 設定を保存するには、**SET** ボタンを押します。

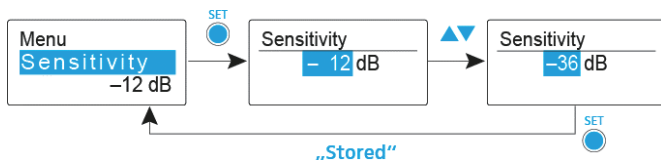
▷ 設定を保存せずにそのメニューを終了するには、**ON/OFF** ボタンを押します。

メニュー概要

このメニューでは、以下の設定と情報の表示が行えます。

Sensitivity メニュー

- 入力感度—AF オーディオレベルの調整



設定範囲：0 dB ~ -60 dB まで 6 dB ステップで変更可能。

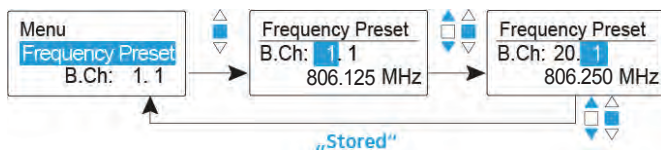
ボディバック型送信機がミュートになっている時には AF オーディオレベルが表示されます。

推奨プリセット：

- 大音量の音楽 / ボーカル：-30 ~ -21 dB
- モデレーション：-21 ~ 0 dB
- エレキギター、シングルコイルピックアップ -30 ~ -24 dB
- エレキギター、ハムバッカーピックアップ -45 ~ -30 dB
- エレキギター、アクティブエレクトロニクス -45 ~ -30 dB

Frequency Preset メニュー

- 周波数バンクとチャンネルのマニュアル選択



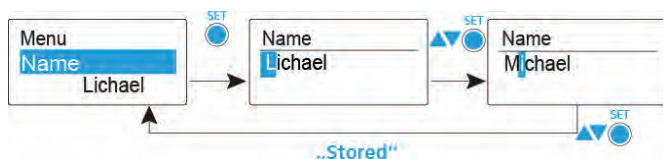
i Frequency Preset メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

マルチチャンネルシステムを作る際には以下の点にご注意ください。

Sennheiser オリジナル周波数プランでは、最大 8 波での運用が可能ですが（環境により変動）。他の周波数プランでは相互変調が発生し運用が困難になりますので、プランをご確認の上、ご使用ください。

Name メニュー

- 名前の入力



Name メニューでは、ボディバック型送信機に好きな名前を入力できます。この名前は、**周波数 / 名前**および**名前 / チャンネル**の標準画面に表示されます。名前は最大で 8 文字です。

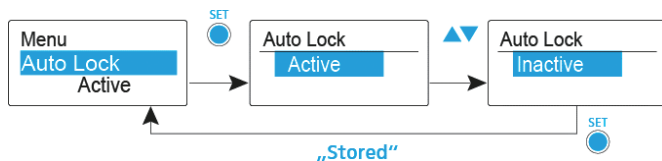
- ウムラウトのついた文字は使えません。
- 0 ~ 9 の数字が使えます
- 特殊な文字やスペースが使えます

以下のようにして名前を入力してください。

- ▷ ▲ **UP** または ▼ **DOWN** ボタンを押して文字を選択します。
- ▷ **SET** ボタンを押して次の文字の入力に移るか、入力が完了したら名前を保存します。

Auto Lock メニュー

- Auto Lock 機能のオンオフ切り替え



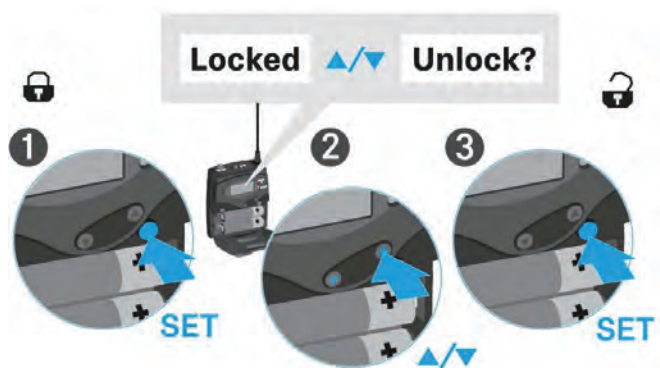
Auto Lock 機能は、ワイヤレスマイクのスイッチを意図せず切るのを防ぐほか、送信機の設定を意図せず切り替えるのを防ぎます。現状の標準画面では、ロックアイコンは Auto Lock 機能がオンになっているかどうかを示します。

Auto Lock を有効にすると、操作するためにロックの一時解除をする必要があります。

ロックを一時解除するには：

- ▷ SET ボタンを押します。
Locked がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ ▲ UP または▼ DOWN ボタンを押します。
Unlock ? がディスプレイパネルに表示されます。
- ▷ SET ボタンを押します。
これでロックは一時的に解除されました。

Auto Lock 機能の作動中は、ロックモードアイコンが点灯します。



Advanced -> Tune メニュー

- 送信周波数と周波数バンクの設定

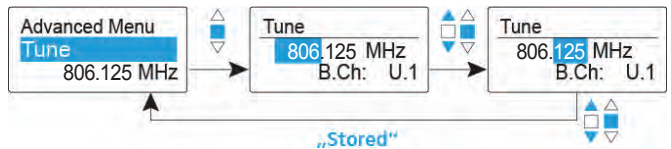
ボディバック型送信機をシステムバンクとして設定した場合、**Tune** のメニューを呼び出すと周波数バンク **U** のチャンネル 1 は自動で設定されます。メッセージ **U.1** が画面に短時間表示されます。工場出荷時設定では、周波数バンク **U** のチャンネルはどの送信周波数にも割り当てられていません。

Tune メニューにいる間は、RF 信号は無効となります。

現在のチャンネルの送信周波数を設定するか、周波数バンク **U** でチャンネルを選択してこのチャンネルの送信周波数を **Tune** メニューで設定できます。

現在のチャンネルの送信周波数は以下のように設定します。

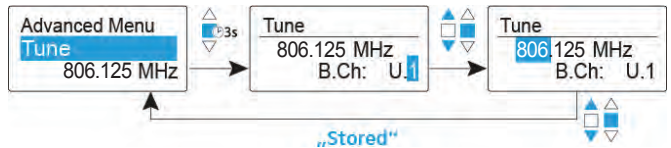
- ▷ **Advanced** メニューから、**Tune** のメニューを開きます。
周波数選択が表示されます。



- ▷ 希望の周波数を設定します。
- ▷ **SET** ボタンを押します。
設定が保存されます。操作メニューに戻ります。

チャンネルの選択と周波数の割り当ては、次の手順で行います。

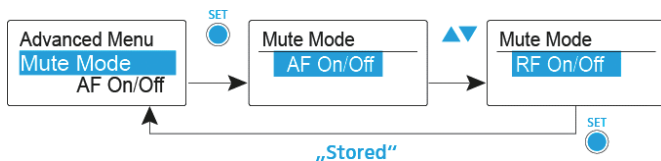
- ▷ **Advanced** メニューで周波数バンク選択が表示されるまで **SET** ボタンを押し続け、**Tune** のメニューを開きます。



- ▷ 希望のチャンネルを設定します。
- ▷ **SET** ボタンを押します。
周波数選択が表示されます。
- ▷ 周波数を設定します。

Advanced -> Mute Mode メニュー

- MUTE スイッチの設定



モード	機能
AF On/Off	MUTE の位置になっていると、オーディオ信号がミュートされます。
RF On/Off	MUTE の位置になっていると、RF 信号がミュートされます。アンテナアイコンが表示されなくなります。
Disabled (無効)	機能しません

AF On/Off モード



- ▷ MUTE スイッチを MUTE の位置にスライドさせます。
オーディオ信号がミュートされました。MUTE メッセージがディスプレイに表示されます。

RF On/Off モード

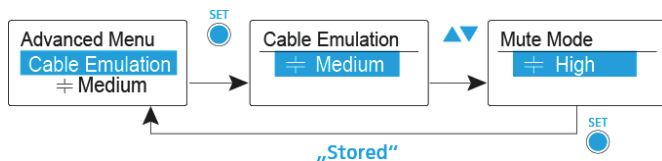


- ▷ **MUTE** スイッチを MUTE の位置にスライドさせます。
RF 信号が無効になりました。MUTE メッセージが画面に表示され、アンテナアイコンが表示されなくなります。



Advanced -> Cable Emulation メニュー

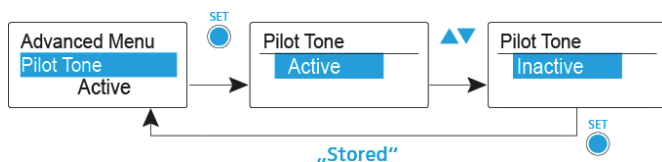
- ギターケーブルのエミュレーション



このメニューにより、ギターケーブルのキャパシタンスのエミュレーションが可能となり、ギターのサウンドに影響を与えます。

Advanced -> Pilot Tone メニュー

- パイロットトーンの伝送を有効または無効にする



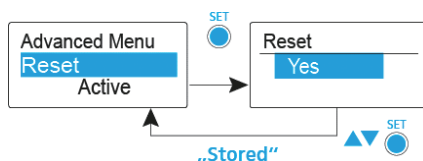
本製品のパイロットトーンはゼンハイザー固有のトーン信号を使用しています。パイロットトーンを ON にすると受信機はトーン信号を持つ送信機以外の電波を受け付けません。他のデバイスによるノイズ発生を防ぐことができます。

Advanced -> LCD Contrast メニュー

- ディスプレイパネルのコントラストを調整する
ディスプレイのコントラストを 16 段階から選択できます。

Advanced -> Reset メニュー

- ボディバック型送信機のリセット



ボディバック型送信機をリセットする場合、パイロットトーンと U 周波数バンクの選択した設定のみが保持されます。

Advanced -> Software Revision メニュー

- ソフトウェアの情報を表示する
現在のソフトウェア情報を表示できます。

デバイスの同期

ew 100 G4 シリーズの送信機と受信機は、受信機の赤外線インターフェイスを介して同期することができます。

次のパラメーターが送信機に転送されます。

- Frequency Preset
- Name
- Pilot Tone

デバイスは以下のようにして同期させます。

- ▷ 送信機と受信機の電源をオンにします。
- ▷ 受信機で **SYNC** ボタンを押します。
受信機のディスプレイに **Sync** が表示され、青色 LED が青く点灯します。



- ▷ 送信機の赤外線インターフェイスを受信機の赤外線インターフェイスの前に置きます。



パラメーターが送信機へと送られます。伝送中青色 LED が点滅します。転送が完了すると、受信機の画面に完了を示すチェックマークが表示されます。受信機の画面が現状の標準画面に戻ります。

同期を取り消すには、

- ▷ 受信機で **ESC** ボタンを押します。
画面に **X** が表示されます。

このアイコンは次の場合も表示されます。

- 送信機が認識されないか、送信機が対応していない
- 送信機が認識されておらず、同期プロセスが 30 秒後に自動で終了

プリセットバンク周波数一覧

ゼンハイザーのウェブサイト上ダウンロードページからも周波数プリセットバンク一覧表をダウンロードいただけます。検索バーに ew G4 を入力して検索すると、周波数表が表示されます。

<https://www.sennheiser.co.jp/sen.user.DownloadList.html>

プリセットバンク周波数一覧

evolution wireless G4 プリセット周波数テーブル

Channel		Bank 1	
1	806.125	B11	B11

周波数

B型チャンネル呼称

Channel	Bank 1	Bank 2	Bank 3	Bank 4	Bank 5	Bank 6	Bank 7	Bank 8	Bank 9	Bank 10											
1	806.125	B11	806.375	B12	806.500	B22	806.125	B11	806.250	B21	806.625	B31	806.125	B11	806.125	B11					
2	806.875	B32	806.750	B41	807.000	B23	806.500	B22	806.625	B31	806.625	B31	807.125	B13	806.750	B41	807.250	B61			
3	807.375	B33	807.250	B61	807.750	B14	807.000	B23	807.125	B13	807.625	B51	807.875	B24	807.250	B61	808.000	B43	808.250	B34	
4	807.750	B14	807.625	B51	808.375	B53	807.750	B14	807.875	B24	808.000	B43	808.500	B25	808.000	B43	808.375	B53	808.625	B35	
5	808.375	B53	808.250	B34	808.875	B26	808.250	B34	808.375	B53	808.750	B54	809.000	B15	808.625	B35	809.125	B44	809.125	B44	
6	808.750	B26	808.625	B35	809.250	B36	808.625	B35	808.750	B54	809.250	B36	809.375	B45	809.125	B44	809.500	B16	809.500	B16	
7	809.250	B36	809.125	B44			809.250	B36	809.375	B45	809.625	B55			809.500	B16					
8	809.625	B55	809.500	B16			809.625	B55	809.750	B46											
9																					
10																					
11																					
12																					

Channel	Bank 11	Bank 12	Bank 13	Bank 14	Bank 15	Bank 16	Bank 17	Bank 18	Bank 19	Bank 20												
1	806.500	B22	806.125	B11	806.500	B22	806.125	B11	806.250	B21	806.375	B12	806.125	B11	806.250	B21						
2	807.000	B23	806.500	B22	807.000	B23	806.500	B22	806.625	B31	806.750	B41	806.500	B22	806.750	B41						
3	807.750	B14	807.000	B23	807.500	B42	807.750	B14	807.000	B23	807.125	B13	807.750	B14	807.000	B23	807.125	B13				
4	808.375	B53	807.750	B14	808.625	B35	808.625	B35	807.750	B14	807.875	B24	808.125	B52	807.750	B14	807.750	B14				
5	808.875	B26	808.250	B34	808.625	B35	809.625	B55	808.250	B34	808.750	B54	808.875	B26	808.750	B54	808.500	B25				
6	809.250	B36	808.625	B35	809.125	B44			808.625	B35	809.125	B44	809.250	B36	809.375	B45	809.125	B44	808.875	B26		
7		809.250	B36	809.500	B16			809.250	B36	809.625	B55	809.750	B46	809.750	B46	809.625	B55	809.375	B45	809.750	B46	
8		809.625	B55					809.625	B55													
9																						
10																						
11																						
12																						

仕様

EM 100 G4

RF 特性

変調	広域帯 FM
受信周波数域	JB: 806.125 ~ 809.750 MHz
受信周波数	125 kHz ステップで調整可能 20 周波数バンク。 1 つあたり、工場出荷時に設定された チャンネルを最大 8 割り当て 相互変調なし 1 周波数バンク、最大 12 のユーザー設 定チャンネル付き
スイッチング帯域幅	3.625 MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24kHz / ± 40kHz
受信方式	トゥルーパーダイバシティ
Sensitivity (感度) (HDX、ピーク偏差)	2.5 μ V 未満 52 dBa rsm S/N 時
隣接チャンネルの選択度	通常 65 dB 以上
変調アッテネーション	通常 65 dB 以上
ブロッキング	70 dB 以上
スケルチ	オフ Low (低): 5 dB μ V Middle (中): 15 dB μ V High (高): 25 dB μ V
Pilot Tone (パイロットトーン)	スイッチオフ可能
アンテナ入力	2 BNC ソケット

AF 特性

コンパウンダーシステム	ゼンハイザー HDX
EQ プリセット (切替可能、ラインとモニター出力で動作):	
Preset (プリセット) 1 : フラット	
Preset (プリセット) 2 : ローカット	-3 dB (180 Hz 時)
Preset (プリセット) 3 : ローカット / ハイブースト	-3 dB (180 Hz 時) +6 dB (10 kHz 時)
Preset (プリセット) 4 : ハイブースト	+6 dB (10 kHz 時)
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 110 dBA
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
AF 出力電圧 (ピーク偏差時、1 kHz AF)	6.3 mm ジャックソケット (アンバランス): +12 dBu BNC ソケット (バランス): +18 dBu
オーディオ出力レベルの調整範囲	48 dB (3 dB ステップ)

デバイス全体

使用温度範囲	-10 °C ~ +55 °C (14 °F ~ 131 °F)
電源	12 V DC
消費電力	300 mA
寸法	約 190 x 212 x 43 mm
重量	約 980 g

SKM 100 G4

RF 特性

変調	広域帯 FM
送信周波数域	JB:806.125 ~ 809.750 MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能 20 周波数バンク。 1つあたり、工場出荷時に設定された チャンネルを最大 8 割り当て 1 周波数バンク、最大 12 のユーザー設 定チャンネル付き
スイッチング帯域幅	3.625 MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

AF 特性

コンパンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	80 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 110 dBA
全高調波ひずみ (THD)	0.9 %
最大入力電圧 マイクロ / ライン	3 Veff
入力インピーダンス マイク / ライン	40 k Ω
入力静電容量	切替可能
入力感度調整範囲	6 dB ステップ 48 dB

デバイス全体

使用温度範囲	-10 ° C ~ +55 ° C (14 ° F ~ 131 ° F)
電源	1.5 V の単三乾電池 2 個または BA 2015 バッテリーパック
定格電圧	3 V バッテリー / 2.4 V 充電式バッテリー
消費電力	通常 180 mA
(公称電圧、送信機のスイッチが オフのとき、	$\leq 25 \mu A$)
連続作動時間	一般的な使用環境で 8 時間
寸法	約 $\varnothing 50 \times 265$ mm
重量 (バッテリー込み)	約 390 g
入力感度調整範囲	6 dB ステップ 48 dB

SK 100 G4

RF 特性

変調	広域帯 FM
送信周波数域	JB: 806.125 ~ 809.750 MHz
送信周波数	125 kHz ステップで調整可能 20 周波数バンク。 1 つあたり、工場出荷時に設定された チャンネルを最大 8 割り当て 1 周波数バンク、最大 12 のユーザー設 定チャンネル付き
スイッチング帯域幅	3.625 MHz (JB)
基準 / ピーク偏差	± 24 kHz / ± 40 kHz
周波数安定性	≤ ± 15 ppm
RF 出力	10 mW
パイロットトーンスケルチ	スイッチオフ可能

AF 特性

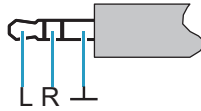
コンパンダーシステム	ゼンハイザー HDX
AF 周波数応答	マイク : 80 ~ 18,000 Hz ライン : 25 ~ 18,000 Hz
信号雑音比 (1 mV、ピーク偏差)	≥ 110 dBA
全高調波ひずみ (THD)	≤ 0.9 %
最大入力電圧 マイク / ライン	3V _{eff}
入力インピーダンス マイク / ライン	40 k Ω、アンバランス / 1 M Ω
入力キャパシタンス	切替可能
入力感度調整範囲	3 dB ステップ 60 dB

デバイス全体

使用温度範囲	-10 ° C ~ +55 ° C (14 ° F ~ 131 ° F)
電源	1.5 V の単三乾電池 2 個または BA 2015 バッテリーパック
公称電圧	3 V バッテリー 2.4 V 充電式バッテリー
消費電力	通常 180 mA
(公称電圧、 送信機のスイッチがオフのとき、	$\leq 25 \mu A$)
連続作動時間	一般的な使用環境で 8 時間
寸法	約 82 x 64 x 24 mm
重量 (バッテリー込み)	約 160 g

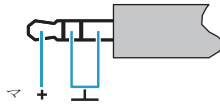
ピン割り当て

3.5 mm ステレオジャックプラグ



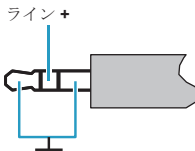
- ヘッドホンフォン、イヤホンケーブル用プラグ、IE 4 等
- 接続先：
 - EK 500 G4

3.5 mm マイクジャックプラグ



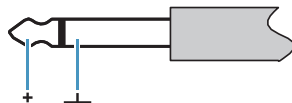
- ラベリアおよびヘッドセットマイク用プラグ、ME 2 等
- 接続先：
 - SK 100 G4
 - SK 300 G4
 - SK 500 G4

3.5 mm ラインジャックプラグ



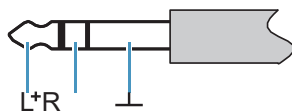
- 接続ケーブル、楽器用ケーブル用プラグ、Ci 1-N
- 接続先：
 - SK 100 G4
 - SK 300 G4
 - SK 500 G4

6.3 mm モノジャックプラグ、アンバランス



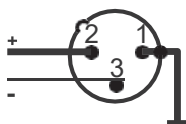
- 接続先：
 - EM 100 G4 オーディオアウト
 - EM 300-500 G4 オーディオアウト

6.3 mm ヘッドホンジャック用ステレोजackプラグ



- 接続先 :
- EM 100 G4 ヘッドホン入力
- EM 300-500 G4 ヘッドホン入力

XLR-3 プラグ、バランス



電源用中空ジャックプラグ



クリーニングとメンテナンス

evolution wireless G4 シリーズ製品のクリーニングとメンテナンス時には次の点にご注意ください。

注意

製品に液体がかかると電子部品が故障するおそれがあります。

製品のハウジングに液体が入ると短絡を招き電子部品が故障するおそれがあります。

- ▷ 液状のものは製品の近くに置かないでください。
- ▷ 溶剤や洗剤は使用しないでください。

- ▷ クリーニング開始前には製品を電源から外し、充電式バッテリーやバッテリーも外してください。
- ▷ クリーニングには柔らかく乾いた布のみ使用してください。
- ▷ 次の製品には下記にある特別のクリーニング指示に従ってください。

マイクモジュールのサウンド入力バスケットのクリーニング

- ▷ 上のサウンド入力バスケットを反時計回りにまわしてマイクモジュールから外します。
- ▷ 内部緩衝材を取り除きます。



サウンド入力バスケットのクリーニングには2つの方法があります：

- 湿らせた布を用いて、サウンド入力バスケットを内側と外側からクリーニングします。
 - ブラシを使い、綺麗な水で拭いてください。
 - ▷ 必要であれば、内部緩衝材を弱い洗剤で拭くか、交換してください。
 - ▷ 上のサウンド入力バスケットと内部緩衝材を乾かします。
 - ▷ 内部緩衝材をもとに戻します。
 - ▷ サウンド入力バスケットをマイクモジュールに戻します。
- マイクモジュールのコンタクトは時々クリーニングしてください。
- ▷ マイクモジュールのコンタクトは柔らかな乾いた布で拭いてください。